

The Iwate University Student Exchange Program (IU-SEP) 岩手大学交換留学プログラム (IU-SEP) 2021年度学生募集要項

《IU-SEP とは?》

IU-SEP は、岩手大学と学生交流の覚書を締結している大学等から半年または1年の短期留学生を受け入れるプログラムです。

IU-SEP には全部で5プログラムがあります。

1. Iwate Area Studies Program (文系コース)
2. Northern Tohoku Region Art and Culture Program (芸術系コース)
3. Iwate Science and Engineering Research Program (理工学系コース)
4. Iwate Agricultural Research Program (農学系コース)
5. Open Study Program (自由選択コース)

《出願資格》

1. 外国籍を有する者
2. 岩手大学と学生交流協定を締結している大学等の学部または大学院の正規生であり、岩手大学留学の期間を通して、所属大学の正規生としての身分を失わないこと。
岩手大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り学業を継続する者または学位を取得する者
(※岩手大学在学中に母国の在籍大学を卒業したり、学位を取得したりすることはできない)
3. 在籍大学における学業成績が優秀であり、人格等に優れている者。
4. 留学の目的及び計画が明確で、岩手大学への留学の効果が期待できる者
5. 講義内容や指導を理解できる一定の語学能力(日本語または英語)があること

※Iwate Agricultural Research Program (農学系コース)については、英語の語学力が TOEFL iBT のスコア 46 点以上、又は日本語の語学力が公益財団法人日本国際教育支援協会か独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験 (JLPT) で N2 以上の合格者、又は受入希望教員による SNS などを利用した面接試験の合格者であること。ただし、TOEFL iBT のスコアが 46 点以上、日本語能力試験 (JLPT) が N2 以上であっても、SNS などを利用した面接試験を実施することがある。

6. 日本への留学にあたり、「留学」の在留資格の取得が確実な者
7. 協定校の学長または学生が所属する部局の長が推薦する者

《受入可能人数》

各校からの留学生数は、原則、学生交流覚書で定める人数となります。

また、各プログラムコースにおいて応募対象とする大学が設定されています。応募対象以外のコース選択を希望する場合は、事前にご相談ください。

《受入期間及び時期》

1. 受入期間

原則1学期～2学期です。

2. 学期（2学期制となります）

春学期：4月1日～8月中旬（授業期間：4月上旬～8月上旬）

秋学期：10月1日～翌年2月中旬（授業期間：10月上旬～翌年2月中旬）

土曜日、日曜日、国民の休日等は休業日です。また、夏季、冬季、春季には休業期間がありますが、この期間中は自主研修を行います。

《出願締切》

2021年 4月入学の場合：2020年12月11日（金）

2021年10月入学の場合：2021年 5月17日（月）

《指導体制》

それぞれの学生に受入担当教員（指導教員）がつきます。これらの教員とグローバル教育センターの教職員を中心に、履修科目の選択指導や岩手での生活指導を行います。

また、学生チューターから生活や学習について支援を受けることができます。

《成績評価・単位互換・修了証書》

1. 岩手大学留学中に講義等を受けて習得した科目について、履修科目、成績評価及び単位数の記載された成績証明書が発行されます。また、IU-SEPの各プログラムコースで定められている所定のカリキュラムを修了した者には、修了証書が授与されます。
2. 岩手大学留学中に講義等を受けて修得した単位は、所属する大学の単位として認められます。ただし、岩手大学で修得した単位が全て所属大学で認められるとは限りませんので、所属大学の交換留学担当者や指導教員にご相談ください。

《履修可能科目について》

過去に交換留学生在が受講した授業科目をプログラムコースごとに一覧にしています。この科目リストを参考にして受講科目を選択してください。なお、リストに載っていない科目も受講が可能な場合がありますが、岩手大学の講義のほとんどは日本語によって進められますので、高度な日本語能力が必要となります。

リスト以外の科目を受講したいときには事前に相談してください。

《各プログラムコースの概要》

1. Iwate Area Studies Program (文系コース)

岩手大学において日本語能力を向上させながら、岩手の歴史、文化、社会、芸術、環境等についてそれぞれの関心分野の知識を高めます。

また、東日本大震災被災地、平泉の世界遺産をはじめとする岩手の特色ある地域訪問や、関心分野での体験等を通じ、岩手をはじめとする日本への理解を深めます。

(1) 対 象 以下の交流協定校に所属する主に日本語、日本学専攻の学部 2 年次～大学院修士課程 2 年次の学生

[中 国] 寧波大学、曲阜師範大学、西北大学、清華大学、石河子大学

[台 湾] 高雄師範大学

[韓 国] 明知大学校、群山大学校

[タ イ] サイアム大学、パンヤピワット経営大学 (PIM)

[アメリカ] テキサス大学オースティン校、ノースセントラルカレッジ、アーラム大学、アラスカ大学アンカレッジ校

[カナダ] セントメアリーズ大学

[フランス] ボルドー・モンテーニュ大学

[アイスランド] アイスランド大学

[ロシア] サンクトペテルブルグ国立文化芸術大学

[インドネシア] アイルランガ大学

(2) 期 間 1 学期～2 学期

(3) 取得単位 1 学期在籍：6～24 単位、2 学期在籍：12～48 単位

*在留資格取得のため 1 週間 6 コマ以上履修してください。

科目によって単位数が異なるので、よく確認してください。

(4) カリキュラム

	領域	科目名	単位	科目群
基盤科目	日本語	日本語科目 (初級～上級)	3 以上	国際教育 教養教育
	文化	岩手学 (英語による科目) 日本事情 A・B (日本語中級Ⅱレベル以上) 多文化コミュニケーション A・B (日本語中級レベル以上) ※ただし日本語初級レベルの学生は必修としない。	2 以上	
	研究	個別研究 (研究発表により評価)	2	
コース選択科目		日本の歴史、文化、社会、芸術、環境等をテーマとする科目から履修する (別紙「過去の交換留学生在が受講した科目リスト」参考)	2 以上	国際教育 教養教育 専 門
自由選択科目		教養教育科目、専門科目の中から、能力、興味、関心に合わせて履修する	自由	教養教育 専 門

2. Northern Tohoku Region Art and Culture Program (芸術系コース)

岩手をはじめとする北東北地域の芸術、地域文化等を学習するとともに、作品の制作を行い、その発表活動を通じて、北東北の芸術文化に対する理解を深め、自らの出身地域の文化と比較し、それぞれの価値を確認します。

(1) 対 象 以下の交流協定校に所属する芸術・産業デザイン系の学部 2 年次～大学院修士課程
2 年次の学生

[イタリア] カラーラ大学

[台 湾] 高雄師範大学

[中 国] 山東工芸美術学院

[タ イ] パヤオ大学

(2) 期 間 1 学期～2 学期

(3) 取得単位 1 学期在籍：6～24 単位 2 学期在籍：12～48 単位

*在留資格取得のため 1 週間 6 コマ以上履修してください。

(4) カリキュラム

	領域	科目名	単位	科目群
基盤 科目	日本語	日本語科目 (初級～上級)	1 以上	国際教育
	研究	制作・研究発表 ※個別研究 (国際教育科目) として開講	2	
コ ー ス 選 択 科 目		国際課題研修 (芸術) 絵画基礎 彫刻基礎 工芸基礎 デザイン基礎 B 造形実習 (窯芸) I・II 造形実習 (染織) I・II 造形演習 (絵画) A・B・C・D 造形演習 (彫刻) A・B・C・D 造形演習 (版画) I・II 造形演習 (デザイン) A・B・C・D 造形演習 (金工) A・B・C・D 造形演習 (窯芸) I・II 造形演習 (染織) I・II	6 以上	専門

<p>自由 選 択 科 目</p>	<p>造形実習（絵画）A・B・C・D・E・F 造形実習（彫刻）A・B・C・D・E・F 造形実習（版画）I・II 造形実習（デザイン）A・B・C・D・E・F 造形実習（金工）A・B・C・D・E・F</p> <p><以下、大学院学生対象科目> －理工学専攻デザイン・メディア工学コース－ プロダクトデザイン －総合文化学専攻アート発信プログラム－ 応用特論（絵画） 応用特論（彫塑） 工芸特論 応用特別演習（絵画）I～III 応用特別演習（彫塑）I～III 工芸特別演習I～IV</p>	<p>1以上</p>	<p>専門</p>
-----------------------------------	--	------------	-----------

3. Iwate Science and Engineering Research Program (理工学系コース)

理工学系の大学院レベルでの研究交流を促進し、学生個々の関心領域について、高度な専門知識、高い倫理性、課題発見・解決力などを習得させ、最先端の科学技術の発展に寄与し、地域社会や国際社会に貢献できる研究者、高度専門職業人を育成することを目的とします。

(1) 対 象 以下の交流協定校に所属する理工学系の大学院修士課程学生(学部学生も受講可能)

[中 国] 大連理工大学、西北農林科技大学、華南理工大学

[キルギス] キルギス・トルコ・マナス大学、キルギス・ロシア・スラブ大学

[モンゴル] モンゴル人文大学、モンゴル国立大学、モンゴル科学技術大学

[タ イ] キングモンクット工科大学ラカバン校、キングモンクット大学トンブリ校
カセサート大学理工学部、パヤオ大学

[カ ナ ダ] サスカチュワン大学

[スウェーデン] リンネ大学

[韓国] 忠南大学校、ハンバット大学校

[台湾] 台湾国立嘉義大学生命科学院

(2) 期 間 1 学期～2 学期

(3) 取得単位 各研究科で設定する。*在留資格取得のため1週間6コマ以上履修してください。

(4) カリキュラム

	領域	科目名	単位	科目群
基盤科目	言語	科学英語特論Ⅰ・Ⅱ 日本語科目	1 以上	国際教育 専 門
	研究	理系研究 A、B (学部学生) 特別研究 (大学院生)	2 以上	
コース 選択科目		【共通分野】 ・ソフトパス理工学特論 ・国際ビジネス特論 【物質化学分野】 ・有機合成化学特論 ・高分子合成化学特論 ・機能高分子材料化学特論 ・表面反応化学特論 ・電気化学特論 ・エネルギー化学特論 【生命科学分野】 ・細胞情報学特論 ・細胞工学特論	2 以上	専 門

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">コース 選択 科目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・神経科学特論 ・発生生物学特論 ・再生医療工学特論 ・医薬品科学特論 【数理・物理分野】 ・線形代数学特論 ・応用数理学特論 ・確率統計学特論 ・現代物理学特論 ・超伝導理工学特論 ・高エネルギー物理学特論 【材料科学分野】 ・電子機能材料理工学特論 ・機能材料評価学特論 【電気電子通信分野】 ・電子回路工学特論 ・計測システム工学特論 ・通信システム工学特論 ・高電圧過渡現象工学特論 【機械・航空宇宙分野】 ・航空宇宙推進工学特論 ・加工システム特論 ・フィールドロボティクス 【知能情報分野】 ・計算知能特論 ・信号処理特論 ・画像認識特論 ・光情報システム特論 【デザイン・メディア工学分野】 ・デザイン・メディア工学総論 ・融合デザインプロジェクト ・プロダクトデザイン <p>※上記以外の授業でもコース選択科目として認めることがある。</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自由 選択 科目</p>	<p>国際教育科目、専門科目から、興味関心に応じて選択</p>	<p>自由</p>	<p>国際教育 専門</p>

4. Iwate Agricultural Research Program (農学系コース)

農学系大学院生の研究交流を促進し、能力・ニーズに応じて研究に必要な日本語および英語能力を向上させながら、農学系の専門分野、すなわち生産環境農学、農芸化学、森林圏科学、水圏応用科学、社会経済農学、農業工学、動物生命科学において実践的に研究することを通じ、専門知識、倫理感、課題発見・解決能力を高めます。

(1) 対 象 以下の交流協定校に所属する農学系の大学院修士課程学生及び学部学生 (*3年次以上) *学部学生は、来日時点で3年次以上であること。

[中 国] 吉林農業大学、上海海洋大学、石河子大学

[ドイツ] ロッテンブルグ大学

[韓 国] 全南大学校

[モンゴル] モンゴル国立大学

(2) 期 間 1学期～2学期

(3) 取得単位 1学期在籍：6～24単位 2学期在籍：12～48単位

*在留資格取得のため1週間6コマ以上履修してください。

(4) カリキュラム (※1, 2)

	領域	科目区分	科目名	学期	単位数	備考
基盤科目	言語	国際教育科目	日本語科目群 (学部)	前期・後期	1	※3
		専門科目	科学英語 (学部)		2	※4
	研究	国際教育科目	農学系研究 (学部)		1	
			農学系特別研究1 (大学院)		1	
			農学系特別研究2 (大学院)		2	
農学系特別研究3 (大学院)	3					
コース選択科目		専門科目	農学概論 (学部)	前期	2	
			有機化学概論 (学部)	後期	2	
			森林科学入門 (学部)	前期	2	
			食料生産環境学概論 (学部)	後期	2	
			動物科学総論 (学部)	前期	2	
自由選択科目			<u>国際教育科目の中から興味関心に応じて選択。</u>			

※1 上記以外の専門科目は、科目一覧に掲載しています。 科目一覧 http://ia.iwate-u.ac.jp/i_index.htm

※2 取得単位は、基盤科目のうち言語領域から 1単位以上、研究領域から 1単位以上履修してください。また、コース選択科目からは、1単位以上履修してください。コース選択科目については、上記以外の授業でもコース選択科目として認めることがあります。

※3 日本語プレースメントテストを受け、レベルに応じて日本語科目を選択することになります。日本語科目群は、日本語科目一覧に掲載しています。

日本語科目一覧 <https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/foreigner/lesson/japanese-learning.html>

※4 この科目は、開設学期・単位数は学科によって異なるため、履修申告時に確認が必要です。

5. Open Study Program (自由選択コース)

各学部において学生の専門分野に関する科目を履修するか、あるいは研究室での研究を行うとともに、岩手大学の学生との交流を深めます。

本プログラムでは、選択科目群を定めず、自身の希望する科目履修、研究等を協定大学や受入教員などと相談しながら行います。

例えば、日本語履修、研究科での研究のみを行うこと等も可能です。

ただし、査証取得条件を満たすため、少なくとも1週間で10時間(6コマ以上)の学習を行う必要があります。

なお、本プログラムの参加学生は日本学生支援機構(JASSO)による奨学金を受給することができません。

(1) 対象 全交流協定大学在学学生

(2) 期間 原則1学期(6か月)～2学期(1年)

(3) カリキュラム

①単位取得を目的とする場合：

「特別聴講学生」として岩手大学に在籍し、週10時間以上(6コマ以上)の授業を受講します。

自身の選択により、原則、交換留学生向けに開講している科目「国際教育科目」を中心に受講します。

その他、日本人学生向けに開講している「教養教育科目」や各学部の「専門教育科目」を受講することも可能ですが、ほとんどの科目で高い日本語能力を求められることとなります(科目によっては授業担当教員から受講許可をもらう必要があります)。

②研究活動のみを実施する場合：

「特別研究学生」として、岩手大学の指導教員の元で研究を行います。研究活動は少なくとも週10時間以上実施する必要があります。

なお、特別研究学生は授業を受講して単位を取得することはできません。

《授業料および関連経費について》

岩手大学に派遣される学生の入学料・授業料は岩手大学では徴収されません。ただし、所属する大学には授業料等を支払う必要があります。また、旅費、宿舍費、滞在費、教科書などの学習に必要な経費や生活にかかる経費、健康保険、国民年金、学友会費及び他の教育関係経費を含む個人的出費に関しては、自己負担となります。

また、自身の怪我や病気、大学の施設や他人への損害が補償される保険に加入し、加入した証拠書類を到着後に提出して下さい。到着時に保険に加入していない場合は、岩手大学が指定する保険に加入して下さい。(10,000円程度)

《宿舍について》

岩手大学では、IU-SEPプログラム生に「国際交流会館」という宿舍を用意しています。部屋は、シェアハウスタイプ(1ユニット4人)となります。

月額宿舍料(光熱水費を含む):【シェアハウスタイプ】33,000円

施設使用料:30,000円(1回のみ)

インターネット年間使用料:24,200円

寝具年間レンタル料:11,000円

設備・備品:机・ベッド(布団付)・エアコン・カーテン・ワードローブ・本棚・室内物干し・無線LAN

(共用スペース) キッチン・トイレ・コインシャワー・冷蔵庫・電子レンジ・ダイニングテーブル・食器棚・サイドワゴン

《奨学金について》

IU-SEPプログラムが、日本学生支援機構(JASSO)が実施する「海外留学支援制度」に採択された場合、奨学金を受給できることがあります。

ただし、農学コース「Iwate Agricultural Research Program」、自由選択コース「Open Study Program」の学生は対象外です。

*奨学金を受給するためには一定の成績要件(成績評価係数(日本学生支援機構(JASSO)指定の算出方法による)が原則2.30以上 ※)が必要となります。

*この奨学金を受給する学生は、岩手大学で取得した単位を所属する大学の単位として認定することが条件となります。

※成績評価係数について

JASSO奨学金の候補者は、在籍大学における推薦時の前年度の成績評価係数が原則2.30以上必要です。前年度の成績がない場合は、成績のある直近1年分の成績から算出する(成績のつかない「合格」等の科目は算定しない)

[成績評価係数の算出方法]

下記により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）する。

4段階評価（パターン1）	-	A	B	C	F
4段階評価（パターン2）	-	100~80点	79~70点	69~60点	59~0点
4段階評価（パターン3）	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59~0点
5段階評価（パターン4）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン5）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3」の単位数} \times 3) + (\text{「評価ポイント2」の単位数} \times 2) + (\text{「評価ポイント1」の単位数} \times 1)}{\text{総登録単位数}}$$

《申請に必要な手続き等について》

申請に関する詳細の情報及び必要な手続きについては、「岩手大学グローバル教育センターホームページ」に掲載しています。

申請に必要な書類についても、このページからダウンロードすることができます。

【岩手大学国際教育センターホームページ】

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/foreigner/type/iu-sep.html>

《連絡先、書類提出先》

岩手大学 学務部国際課

〒020-8550

岩手県盛岡市上田三丁目 18-34

電話：+81-(0)19-621-6927

FAX：+81-(0)19-621-6290

Email：gryugaku@iwate-u.ac.jp